

美浜町社会福祉協議会

でんでんむしの家

令和2年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (17:00~17:25)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画	・利用開始後も、その方をより深く知れるよう会話などで得た情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員間の会話や記録、ミーティングにて情報のある程度、共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	4	1	0	5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	4	1	0	5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	4	1	0	5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	4	1	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・その都度の職員間での会話や記録を確認し情報共有ができている。 ・家族と接する機会があれば声掛けを行い、家族より話が出来やすい雰囲気作りを心掛けている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・業務が立て込んでいる際、朝礼が出来ない日があり共有できていない。 ・利用者のその日の状態等は共有出来ているが、些細な言葉から伺える利用者の気持ちや様子を職員間で伝達できていない。 ・家族より得た情報を全て記録に残せていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・毎日の朝礼を必ず行い、些細な情報もその場で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (17:25~18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	2人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者の目標や希望を定期的に確認する場を設け、支援についての話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・ケアマネからの情報や本人との会話より、目標や希望を把握できている。・利用者の長期の目標や希望が把握できていない。・利用者の目標や希望について話し合う場が設けられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	3	0	5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	3	0	5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	3	0	5
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	2	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・内部会議にて本人の希望や希望に対し実践した取り組みを伝え、共有できている。・ケアプランより長期目標や短期目標を把握できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・関わりの中で「～したい」等の目標や希望を引き出せていない。・全ての利用者の目標や希望を把握できていない。・情報が少ない利用者もあり、目標や希望を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・普段の関わりの中から、目標や希望を聞き取れるよう意識し雰囲気作りを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (18:00~18:25)

3. 日常生活の支援

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">表情や言動から本人の思いを受け取り、職員間で共有しより良い支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">その時の利用者の様子や思いを朝礼等で共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	3	0	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	5	0	0	5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	2	0	5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	5	0	0	5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	5	0	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">利用者の様子の変化や体調面を情報として朝礼で伝え共有できた。利用者の細かな変化を記録に記入し共有できた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">朝礼にて実際の支援の内容や様子は伝達できているが、本人の言動や推測できる気持ちや思いを伝えきれていない。利用者の気持ちや思いを聞き取れていても、その後の支援に繋がられていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">朝礼で得た情報はできる限り細かく伝える。また、記録から得た情報で不明な点は記録者に直接尋ね確認を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (18 : 25 ~ 18 : 45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	2 人	1 人	5 人

前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none">・利用者が地域の中で関わりのある方について、会話や家族からの聞き取りを行い必要に応じ繋がりを持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	<ul style="list-style-type: none">・利用者が地域との関わりが継続できるよう、意識し取り組んでいる。・地域の方と会えた際に話をし関りが持てるよう取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	3	0	5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	2	0	5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	0	0	5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	3	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・生活スタイルや事業所利用以外の生活について利用者本人との会話や家族からの情報にて、ある程度把握できている。・福祉委員会や地域職員からの情報にて地域との関わりや地域資源について把握できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域資源の情報は把握できているが、関わる機会が少なく活用が出来ていない。・以前の生活の情報が少なく、把握できていない。・家族と同居している利用者の地域との繋がりが把握できていない。情報が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・各地区の民生児童委員、福祉委員、繋がりのある方の顔や家を把握しておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (18 : 45 ~ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	1 人	2 人	5 人

前回の改善計画	
	・小規模計画書にて本人の目標やニーズを確認し、職員全員で意見を出し合いプランに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・小規模計画書を確認する意識ができた。 ・小規模計画書を確認するが、プランに反映できる意見を出せていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	1	0	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	0	0	5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	3	1	0	5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	5	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者の変化に気づいた際には他の職員に伝達し記録にも残している。 ・必要に応じた通いや訪問の追加に対応できている。 ・福祉委員会等で地域資源と情報共有し、地域の方からの見守りや声掛けに繋がっている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・朝礼や内部会議にて状態の報告のみになり、今後の支援について話し合いが十分にできていない。 ・全ての利用者の暮らしている地域資源を把握できていない。 ・小規模計画書が見づらい場所に保管してあり、確認不足となっている事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・小規模計画書ファイルを常に申し送りノートと一緒に保管し、常時確認できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (19 : 00 ~ 19 : 10)

6. 連携・協働

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	3 人	1 人	5 人

前回の改善計画	
	・各職員が参加した活動や会議、行事の目的や意味、内容を他の職員に伝え共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・参加した活動や会議の内容を他の職員に伝達する意識が持てた。 ・参加した研修や会議の内容を全て伝達できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	1	3	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	1	2	5
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	1	3	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	3	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・野菜の寄付や近所の子ども達が訪れ交流もできた。 ・業務で必要な会議への参加ができた。 ・各種機関との会議に参加し必要な個所を内部会議にて報告できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員によって担当が異なり、職員全員が各種の会議に参加できていない。 ・新型コロナウイルスの影響で会議の開催が少なかった。また、事業所での行事の開催も中止となり地域の方が事業所を訪れる機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・各職員が参加した活動や会議、行事の目的や意味、内容を他の職員に伝え共有する。(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (19 : 10~19 : 30)

7. 運営

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	5 人	0 人	5 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者の活動をパンフレットやブログで発信し、パンフレットを送迎車に常備し、いつでも地域の方に配れる工夫を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・パンフレットを送迎車に乗せていない。・パンフレットがあっても急に地域の方に配ることができない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	0	5	0	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	0	5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	1	3	1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	1	3	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者、家族から意見があった際は職員間で共有できている。・運営推進会議で出た意見を内部会議にて報告している。・地域の行事や会議に参加している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域からの意見を共有しているが、その後に繋がられていない。・青空喫茶が中止となり、地域の方と協働した取組みが行えなかった。・地域の中に入り意見をもらえるような関係性を築けていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・ブログや家族向けのお便りで事業所の様子を知ってもらう。運営推進会議の内容を内部会議等で確認を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (19 : 30 ~ 19 : 45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	2 人	1 人	5 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">積極的に研修に参加し、参加した職員は内部会議にて研修報告を行い共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">可能な限り研修に参加できている。研修の報告を全てできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	3	1	0	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	2	2	5
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	0	4	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	2	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ヒヤリハットの様式を用いて報告し共有できている。内部、外部の研修に可能な範囲で参加できている。内部会議にて、参加した研修の報告がある程度できた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">外部の研修への参加が積極的にできていない。新型コロナウイルスの影響で地域連絡会や外部研修の中止があり参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">内部研修にて各職員が講師役を務め、深く学べる機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 16 日 (19 : 45 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5 名

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	3 人	0 人	5 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・事業所としてプライバシー保護、個人情報管理が徹底されているかを、定期的に確認する場を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・事業所として可能な限り個人情報の管理ができています。・利用者の前で他の利用者の事を話したりする場面があり、プライバシーが完璧に守られていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	1	0	0	5
②	虐待は行われていない	4	1	0	0	5
③	プライバシーが守られている	0	5	0	0	5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	5	5
⑤	適正な個人情報の管理ができています	0	5	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の思い通りの過ごし方を尊重する意識を持っている。・各利用者のファイルをカーテンで隠すなど可能な範囲で個人情報保護に努めている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の前で他の利用者の話をしたり、トイレ誘導時の声掛けにて状況がわかる声掛けをする等プライバシー保護が徹底されていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の立場に立ち、プライバシー保護の意識を高める。また職員間で注意し合える環境をつくる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人	代表者	坂田 俊明	法人・事業所の特徴	当事業所は民家を改修した建物で家庭的な雰囲気を大切にしており、地域に溶け込んだ佇まいで、地域との繋がりを重視している。利用者が今まで築いてきた地域や家族の中でひとり一人が望む暮らしが出来るように、必要に応じて機能を活かせる支援をしている。 また、家族ともコミュニケーションを多く持つようにし情報を共有するとともに、家族を支援することも意識している。
事業所名	でんでんむしの家	管理者	池田 直暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 内部会議等で定期的に改善計画を確認し、振り返りの場を設ける。また運営推進会議で出た意見を職員間で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が意識し取り組んでいる様子が伺えた。 業務が忙しい中、改善計画を意識し取り組むのは大変だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別評価を行い、事業所で評価できていると感じた。 具体的で取り組みやすい改善計画になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価を元に月間の事業所目標を決め、目標に沿った取り組みを行い内部会議にて振り返りを行う。また、運営推進会議にて共有し意見をもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 様々な年齢層の方が気軽に来てもらえるよう、行事の開催や事業所の玄関前の花や、植木を絶やさず立ち寄りやすい雰囲気作りを行なう。また、地域の行事に利用者で参加し、関わりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて訪れるが、不快な臭いもなく清潔が保たれている。 職員不在の時は不在の貼り紙がしてあり、分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関付近にプランター等で花があり、道からも見えやすく良い雰囲気は感じられる。 今年はコロナウイルスの影響で地域の方が訪れる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の玄関前の花や植木を絶やさず立ち寄りやすい雰囲気作りを行う。また利用者が作成した作品や日用品を地域の方に使ってもらえるよう、一緒に配るなど支援を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の看板の位置の検討を行い、見えやすく工夫する。また、各地区の行事に参加し、パンフレット等を活用し事業所を知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年、看板の位置について課題として挙がっているが改善されていない。 ゴミ出しや普段の中で、職員が地域の方と挨拶をしている姿を見かける。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年はコロナウイルスの影響で地域の行事が中止となっている為、関わる機会が少ない。 例年は地域の防災訓練やレクリエーション大会に参加してくれ関わりを持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の看板の位置の検討を行い、見えやすく工夫する。また散歩など出来る限り利用者と地域の中に出向き、地域との繋がりを維持していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の福祉委員会等で得た情報を職員間で共有し、課題の解決に向け検討する場を設ける。また、内容に応じ、運営推進会議の議題として検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員会や日頃の関わりで利用者以外の方の情報共有できている。 地域の情報を職員間で共有できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にてドライブや外出の報告があり、利用者に対し外出や地域に出る支援を行っている事がわかる。 今年は地域のサロン等が中止になり地域との関わりが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員会や運営推進会議にて得た情報を内部会議の場で共有する。また、各地区の福祉委員会にパンフレットを持参し当事業所が地域福祉の拠点である理解を深めていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議において「小規模多機能の役割」や「認知症の理解」についてなどの勉強会を行なっていく。また事例検討を行い、情報共有を行なっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて小規模多機能について説明があり、事業所の業務内容や地域での役割について理解できた。 運営推進会議での事例検討は個別的な内容が多く、検討は困難だと思ふ。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、運営推進会議委員が知りたい事を学べる勉強会を行ってほしい。 運営推進会議で得た知識を福祉委員会でも活かしたい。 前回の改善計画にある「認知症の理解」がとりくめていないので勉強会として行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて「認知症の理解」について勉強会を行う。また、利用者への対応方法や地域との繋がりについて地域住民としての意見をもらう。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の作成を行なう。避難場所の確認や災害時の家族や、各関係機関との連絡方法の確認を踏まえた訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年は中止となったが、例年は地域の防災訓練に職員が参加してくれている。 災害時など有事の際の動きを事務所に掲示してあるとの事で、職員間で共有できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練に高齢者の参加が少なく、課題として事業所も一緒に検討していきたい。 特に平日の昼間は若い世代が仕事に行っており不在になっている。そのような時に災害が起きた場合、職員の協力が必要となるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の作成を行う。また、高齢者を対象とした避難訓練について運営推進会議委員をはじめ福祉委員会等で地域の方と検討していく。

